

**KIKAIYA**  
TOOLS PRO SHOP KIKAIYA

# 超大型ホイールドーリー

## 取扱説明書

【品番】 TD-4

この度は、KIKAIYA「超大型ホイールドーリー」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- \* この取扱説明書は、商品の正しい使い方やメンテナンス方法、使用上の注意について記載しております。
- \* 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく取り付し、お使いください。
- \* 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3  
(MAIL) info@kikaiya.com

## ■調査及び修理をご依頼の前に

\* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

組立て上の誤りや、改造による故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

\* 調査を依頼される際の送料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

\* 改良の為、予告なく製品仕様を変更する場合がございますのでご了承ください。

## ■開封時

開封したらすぐに中身を確認してください。

付属品の欠品、破損等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら 7 日以内に必ず開封して中身/動作をご確認ください。

## ■注意事項

- 能力以上の作業は行わず、使用方法に沿って正しくご使用ください。
- 本来の使用方法以外の目的での使用や改造はしないでください。
- 使用前にナットやボルトがしっかりと締まっているか確認してください。
- ナットやボルトは規定のものを使用してください。
- 必ず整理整頓された水平な堅いコンクリートの上で使用し、不安定な場所での使用は行わないでください。
- タイヤを持ち上げる前にキャスターがしっかりと地面についているか必ず確認してください。
- 本品はタイヤホイール専用です。車両を持ち上げる事は出来ません。
- 本品を使用する際は必ずジャッキとスタンドを併用してください。
- 子供を近づけないでください。また子供に本品の操作をさせないでください。
- 作業に適した服装で手や指を清潔にして作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具、長い髪は、本品に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 足元は常にしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。無理な姿勢で作業をしないでください。
- 体調が優れない時や、飲酒、その他薬を服用している時の使用はお控えください。

## SIZE

【単位(約) : mm】

## ■仕様

商品名 (品番)	超大型ホイールドーリー (TD-4)
サイズ	画像参照
本体重量	113.8kg
耐荷重	1500kg
キャスター	φ150 × 幅 50mm (ペアリング入り自在キャスター) ブレーキ付き × 2 個 ・ ブレーキ無し × 2 個



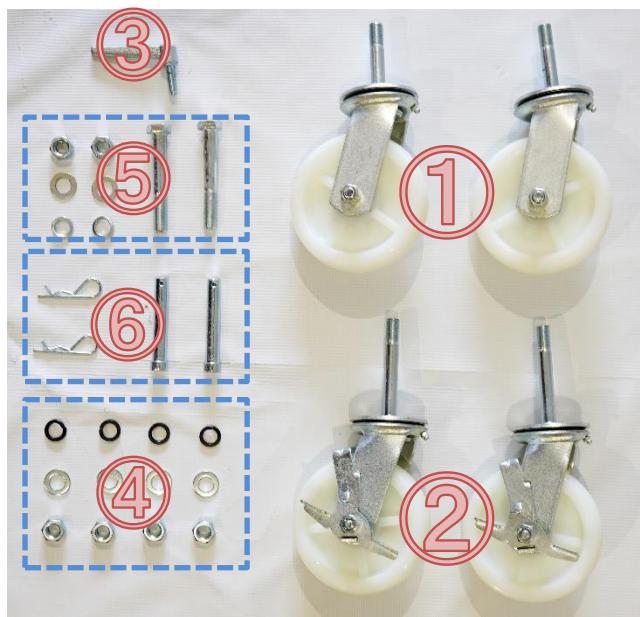
## ■組立て方法（パート一覧）

### <部品(大)>



番号	名 称	数量
1	ホイールホルダー	1
2	脚部	2
3	支柱	1
4	脚部	2
5	タイヤ受けローラー	2
6	メインフレーム	1

### <部品(小)>



番号	名 称	数量
1	キャスター	2
2	ブレーキ付キャスター	2
3	フック	1
4	ナットセット (ナット/スプリングワッシャー/平ワッシャー)	4 セット
5	ボルトセット (ボルト/ナット/S ワッシャー/平ワッシャー)	2 セット
6	R ピン+ボルト	2 セット

①

メインフレーム(6)にブレーキ付キャスター(2)をナットセット(4)を使用して取付けます。

※キャスターを下側から挿し込みナットセットで固定する



キャスター→フレーム→平ワッシャー→Sワッシャー→ナット



②

脚部(4)にキャスター(1)をナットセット(4)を使用して取付けます。

※キャスターを下側から挿し込みナットセットで固定する



キャスター→フレーム→平ワッシャー→Sワッシャー→ナット



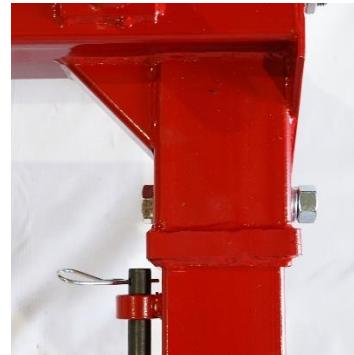
③

上記で組立てた脚部(4)をメインフレーム(6)へ挿し込み、ボルトセット(5)で固定する。

(外側より挿し込む)



ボルト → Sワッシャー → 平ワッシャー → フレーム → ナット



④

メインフレーム(6)に支柱(1)を R ピン+ボルト(6)を使用して取付けます。



⑦

ホイールホルダー(2)を支柱(1)に挿し込み固定します。



⑤

タイヤ受けローラー(3)をメインフレーム(6)のローラーへ取付けます。



⑥

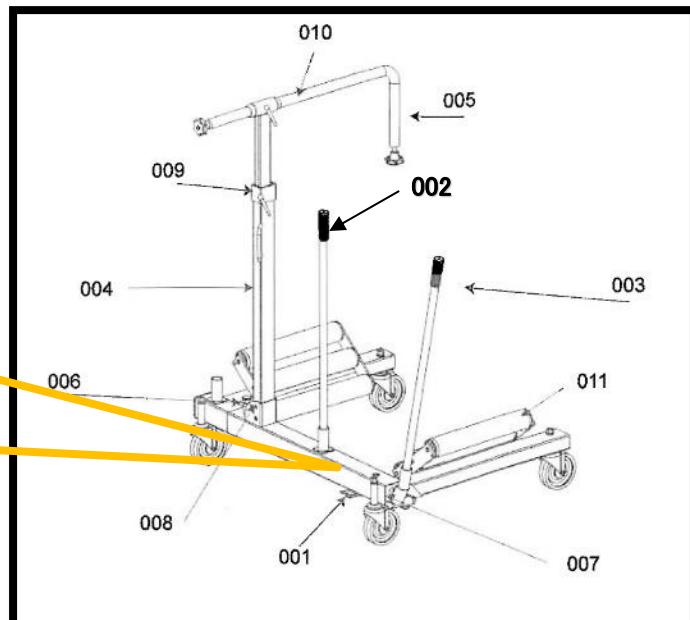
ハンドル(5)をフレームのポンプ側とハンドル入れに挿し込みます。



## ■ 使用方法

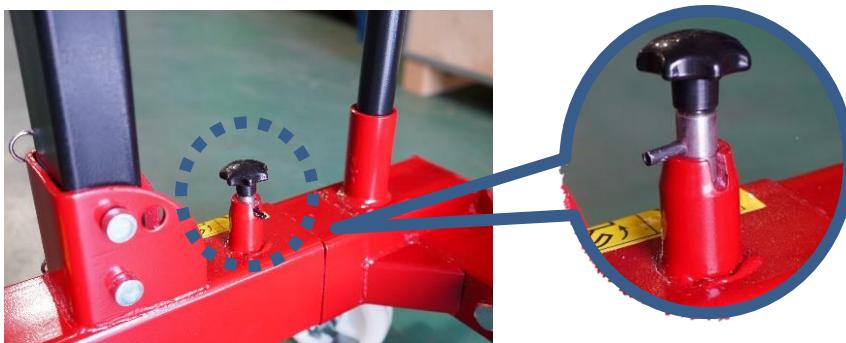
- ✓ 車両のジャッキアップ・タイヤの取り外しは、必ず水平な堅いコンクリートの上で行ってください。
  - ✓ 使用場所は整理整頓された明るい作業場でご使用ください。
  - ✓ 本品と車軸を水平に保つことでタイヤの取り外しが容易になります。
  - ✓ 車輪が動かないように固定された状態で、車輪が地面接地したままである事を確認してください。
  - ✓ 安全の為 2名以上で作業し本製品のキャスターブレーキは常にロックしてください。
- ※P8(8 ページ)の部品図を合わせて参考してください。

使用前には空気を抜くために  
このネジを 1 回転します。



### 【タイヤを外す時】

- ① 本体キャスターのブレーキを両方ロックする。
- ② 本製品の安全ピン(006)のロックを解除する。 《解除方法》 安全ピンを持ち上げ半回転させる  
③ 本体を開く側のみキャスターブレーキのロックを解除する。



- ③ ロックペダル(001)を踏んだまま、補助ハンドル(002)を利用してタイヤ幅まで開きます。  
※使い始めは本体を開くのがとても硬くなっていますので、2名でゆっくりと開いてください。



※ロックペダルを踏んだ状態でないと、本品は開きません。

本体の開きを良くするためグリス等を塗つておくと、次回以降の作業が楽になります

- ④ タイヤの横側から本品を押し込みます。

- ⑤ ホイールホルダー(005)がホイールの(中央)にくるように配置します。

- ⑥ ポンプレバー(003)をポンピングします。

- ローラーの両側がホイールにしっかりと接触するまでポンプレバーをポンピングします。



ハンドルを上下(ポンピング)します

高さ調整棒(009)と幅調整棒(010)を調整しタイヤの位置に合わせます。

⑦ ※ホイールホルダー(005)をタイヤに軽く接触する程度に合わせてください。

※ホイールホルダーはタイヤを固定する為の物ではなく、タイヤ保持の為の機能です。



⑧ 左右のキャスター刹车をしっかりとロックしてから、タイヤのホイールボルトを外し  
タイヤを車体から取り外します。

本体の開き防止(タイヤ自重による沈み防止)の為、安全ピン(006)を挿し込み任意の穴に

⑨ 入るまでハンドル(003)をポンピングすると、安全ピンが穴にしっかりと収まりロック状態になります。



溝にしっかりとめ込みます

⑩ 左右のキャスター刹车を解除し、  
安全に注意してゆっくりと本品を車両から引き離してください。



## 【タイヤを装着する時】

- ✓ 安全の為 作業は 2 名以上でしてください。
1. タイヤを本品にのせた状態で、本品を車体側に押し込んでください。
  2. 安全に注意して車体にタイヤを装着してください。  
【メモ】タイヤ接触部はタイヤ受けローラーでタイヤを回転させる事も可能です
  3. ゆっくりと本品を車両から引き離してください。